

「東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の平成 27 年度における効果検証

## 基本目標 1 : げんきづくり for VITALIZATION

～魅力ある町を PR し人を呼び込む～

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
人口の社会増 (人)	-198	(H26)	-124	100 人
20 歳代転出者数の縮減 (人)	1,202	(H25)	1,212	1,100 人
観光入込数の増加 (人)	720,000	(H25)	887,532	1,000,000 人
商業・サービス施策に関する市民満足度の向上 (%)	39.9%	(H25)	57.5	50.00%

■ 施策 1 学園のまちの特色を活かし、市民と大学等教育機関が連携し、まちを活性化する。

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
大学等と連携した新たなイベントの開催数 (回)	—	—	0	延べ 3 回
大学等と連携した新たなイベントの参加者数 (人)	—	—	0	延べ 1,000 人
若者を中心とした活気がある街だと思える市民割合 (%)	—	—	28.4	60.00%

■ 施策 2 首都圏の近郊に位置する便利な立地特性を活かし、人が訪れたいくなるような魅力を PR する。

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
観光 PR が盛んだと感じる市民割合 (%)	—	—	20.1	60.00%
移住定住ホームページへのアクセス件数 (件)	—	—	2,111	70,000 件
年間転入者数 (人)	3,210	(H26)	2,620	3,300 人
体験農園開設数 (箇所)	5	(H27)	5	7 箇所

■ 施策 3 地域の魅力を高め、地域力を底上げして、まちを明るく元気にする。

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
公共施設 (東金アリーナ・東金文化会館・公民館・図書館・ 児童館・老人福祉センター) の年間利用者数 (人)	561,995	(H26)	565,021	650,000 人
公共施設に満足している市民割合 (%)	—		58.0	60.00%

## 【検証】

戦略において、「東金市に来てもらい、住んでもらい、住み続けてもらうことが最も重要である」と表現していることから、魅力あるまちをPRし人を呼び込む「げんきづくり」は、初年度から優先して取り組んできた分野である。

特に「観光入込数の増加」「商業・サービス施策に関する市民満足度の向上」が高い数値を示していることから、地方創生先行型交付金を活用した八鶴湖の浚渫等景観維持・周辺地域におけるイベントの充実が十分な効果を上げ、さらには、(年度末に採択された)同加速化交付金による八鶴湖環境整備及び情報誌作成の方向性に対する期待度が大きいものであると理解している。

そのため、今後も引き続き、国交付金等を活用した「八鶴湖を中心とする市内の観光資源等の充実」を優先して実施していくことが望ましいと考える。

しかし、個別の施策及び数値目標を見ると、特に「若者を中心とした活気がある街だと思ふ市民割合」「観光PRが盛んだと感じる市民割合」「移住定住ホームページへのアクセス件数」において低い数値を示していることから、基本目標1の更なる充実を図るためには、国交付金等を活用し充実させた観光資源等をいかにしてPRしていくか、さらに、観光から定住につなげるための手段として、いかにして移住定住ホームページに誘導させる仕組みを作るかについて優先して検討していくべきポイントであると考えます。

## 【実施した主な施策】

### ・大学連携強化事業 ■ 施策1

平成25年度に締結した包括連携協定に基づき、大学と市による連携推進協議会を発足し、地域発展のために大学と市が連携し実施する事業等について協議をしてきた。

### ・八鶴湖周辺にぎわい創出事業 ■ 施策2

地方創生先行型交付金を活用し、八鶴湖の浚渫等景観維持を行った。

また、平成27年度末に採択された加速化交付金により、八又観賞用の栈橋を整備したところであり、当該情報等を掲載した情報誌を平成28年度末までに作成する予定である。

また、併せて平成28年度については、新たな国交付金(推進交付金)を活用した観光資源等再整備を実施する予定である。

・移住定住ホームページ運用事業 ■ 施策 2

九十九里町と連携し、移住・定住情報を見やすくまとめたホームページの立上げ・公開の準備を行った。

現在、公開しているが、アクセス数が伸び悩んでいることから、当該ホームページに誘導できる仕組みの構築について検討していく予定である。

・2020年東京オリ・パラ事前キャンプ誘致事業 ■ 施策 2

平成27年度に、千葉県と連携し「オリパラ CHIBA 推進会議」の事前キャンプ誘致部会に本市、大網白里市、長柄町、生命の森リゾートで構成される分科会を設置した。

当分科会は本市に所在する東金アリーナが陸上競技場としては外房地域でトップレベルであること、また、生命の森リゾートがこれまでも各国のトップアスリートを受け入れてきた実績を事前キャンプに活かそうと立ち上げられたものであり、屋内競技はもとより特に陸上競技については、県内でも誘致成功が期待される枠組みとなっている。

これに伴い、本市では各国組織委員会・競技団体の東金アリーナへの視察要望に対応しており、平成27年度はオランダ五輪組織委員会の視察を受け入れたが、結果としてオランダは県内他市町に分散しキャンプを実施する見込みとなっており、本市としては他国の競技団体の誘致を目指し活動していく予定である。

加えて、本市がフランスのリュエイユ・マルメゾン市と姉妹都市であることから、県の分科会での取り組みと並行して、独自にフランスの競技団体誘致に向けた取り組みも行っているところである。

基本目標 2 : みらいづくり for NEXTGENERATION

～子育てのしやすい環境を整える～

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
合計特殊出生率の向上	1.34	(H25)	1.32(H26)	1.6
子育て世代(20歳～49歳)の転出者数(人)	1,858	(H25)	1,878	1,700人
子育て世代(20歳～49歳)の転入者数(人)	1,781	(H25)	1,677	1,900人
子育て支援施策に関する市民満足度の向上(%)	50.40%	(H25)	62.7	60.00%

■ 施策 1 安全面や経済面から子育て世帯を支援する。

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
保育所の待機児童数	6	(H25)	2	0人
学童保育の利用学童数	4,145	(H25)	5,254	5,000人

■ 施策 2 出会いから子育てまで切れ目なく支援する。

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
婚活支援事業の開催回数	—		0	延べ3回
婚活支援事業の参加人数	—		0	200人
婚活支援事業により結婚に結びついた組数	—		0	5組
不妊治療に対する助成事業の利用件数	41	(H25)	52	50件
家庭児童相談室の相談件数	124	(H25)	115	140件

■ 施策 3 教育・保育の現場と地域・家庭が一体となって子どもを育てる。

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
ファミリーサポートセンター会員数	225	(H25)	234	250人
不登校児童・生徒の人数	60	(H25)	78	減少
防犯指導員数	193	(H26)	213	250人
家庭児童相談員数	1	(H27)	1	2人

■施策4 働きながら生み育てやすい環境をつくる。

数値目標	基準値		H27実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
ワークライフバランスに取り組んでいる企業数	—	—	4	4社
認定こども園の設置件数	—	—	0	11園

【検証】

「みらいづくり」については、地方創生先行型交付金を活用し、「乳幼児用防災備蓄整備事業」「ワークライフバランス推進事業」に取り組んだところであるが、実績値が基準値を下回っている項目が見られていることから、未だ進捗状況が不十分である分野であると考えます。

しかし、その一方で、本市が戦略と並行して取り組んで来た「分娩対応可能な産婦人科の開設」について、平成28年度に開設に至ることができ、「出会いから結婚・出産・子育てまでの切れ目のない施策」を実施するための環境が整ったことは、大きな一歩であると考えている。

そのため、今後は入り口部分である“出会い”につながるようなイベントの開催について検討し、実施していきたいと考えています。

【実施した主な施策】

・乳幼児用防災備蓄整備事業 ■ 施策1

地方創生先行型交付金を活用し、市内防災倉庫に乳幼児向けの備蓄を整備した。

・ワークライフバランス推進事業 ■ 施策4

市内ワークライフバランス整備のため、東金商工会議所への委託事業として「ワークライフバランスコンサルタント養成講座（全3回）」を実施するとともに、働く女性に向けた「女性ネクストリーダー研修（全2回）」企業経営層及び人事・労務担当を対象にしたトップセミナーを開催した。

当該事業をさらに深化させるべく、加速化交付金を申請したが不採択となってしまったことから、現在、事業の見直しを行っているところである。

基本目標 3 : まちづくり for COMFORTABLE CITY

～住みやすいまちをつくる～

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
都市基盤施策に関する市民満足度の向上 (%)	51.3%	(H25)	64.5	61.00%

■ 施策 1 交通機能を使いやすく改善し、安全で便利なまちにする。

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
防災施策に関する市民満足度の向上 (%)	49.7%	(H25)	57.1	60.00%
高速バス本数	77	(H27)	77	90 本
J R 東金駅の一日平均利用者数	4,450	(H25)	4,356	5,000 人

■ 施策 2 市民や来訪者など多様な人が集まる拠点や魅力スポットをつくる。

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
公園・緑地施策に関する市民満足度の向上 (%)	49.8%	(H25)	61.7	60.00%
みのりの郷東金の来場者数	274,002	(H26)	286,970	500,000 人
移住定住ホームページへのアクセス件数	—		2,111	70,000 件

■ 施策 3 市と市民が協働で安心して住み続けられるまちをつくる。

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
自治会の加入率 (%)	69.3%	(H25)	66.1	70.00%
交通事故発生件数	268	(H26)	233	240 件
犯罪認知件数	870	(H26)	800	770 件

■ 施策 4 快適な住まいの場を提供し、新たな定住者を迎え入れる。

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
市内住宅数	29,100	(H25)	29,575	30,000 件
転入支援策等の利用件数			18	延べ 300 件
U・I ターンによる移住者数			-	10 件

## 【検証】

「まちづくり」については、主に「げんきづくり」の観点から実施した「九十九里町との連携による移住定住情報ホームページ立ち上げ」や「既存観光資源の効果的な発信を行うための観光情報誌作成（地方創生加速化交付金の共同申請）」など、ソフト面での取り組みにとどまっていた。

今年度については、ハード面での整備を視野に入れた取り組みとして、定住する意思を持って新築住宅を取得したものに対する補助制度を創設し、積極的にPRすることで移住定住を促進したいと考えている。

## 【実施した主な施策】

### ・観光・防災 Wi-Fi ステーション整備事業 ■ 施策 1

観光・防災の拠点における来訪者や住民の情報収集等の利便性向上のため、公衆無線LANの環境整備のため、国補助金活用にむけた申請準備を行ってきた。

今年度、補助金を申請したが不採択となってしまったことから、現在、事業の見直しを行っているところである。

### ・転入希望者への支援策の充実（中・長期で検討する事業） ■ 施策 4

定住する意思を持って新築住宅を取得したものに対し補助制度を創設すべく庁内横断的に協議・検討を行い、制度設計と平成28年度当初予算の要求を行った。

### ・戸建住宅購入者への支援（中・長期で検討する事業） ■ 施策 4

同上

基本目標 4 : しごとづくり for JOB CREATION

～地域に雇用を創出し、働きやすい環境を整える～

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
市内事業所数の増加	2,383	(H24)	2,435	2,500 事業所
市内事業所従業者数の増加	23,029	(H24)	23,146	25,000 人
勤労者対策施策に関する市民満足度の向上 (%)	36.20%	(H26)	47.4	45.00%

■ 施策 1 豊かな地域資源の活用や新技術の導入により、時代が求める産業を地域から生み出す。

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
地域産業資源の活用による新たな商品等の創出件数	—		1	3 件
認定農業者数	69	(H26)	105	110 経営体

■ 施策 2 人の流れを促し雇用を創出する新たな産業の導入・育成を図る。

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
創業相談件数	—		0	8 件
新たな産業施策に関する市民満足度の向上 (%)	35.6%	(H25)	44.5	45.00%

■ 施策 3 多様な選択肢が可能となるよう生活と仕事の両立に向けた取組みを進める。

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
ワークライフバランスに関するコンサルタント数	—		2	10 人

■ 施策 4 ニーズが高い健康・福祉部門を充実させながら雇用を創出する。

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
看護師養成修学資金貸付制度を利用し、東千葉メディカルセンターに就職した人数	—		14	60 人
介護サービス施設数	16	(H27)	16	18 施設

## 【検証】

戦略初年度は、都心や千葉市といった大きな雇用の場に近接しているという立地特性を活かした施策に重点を置いたため、「しごとづくり」については、検討するにとどまっていたことから、数値目標は基準値から横ばいで推移するという結果となった。

しかし、若者層の大都市集中の是正や、他地域からの移住の受け皿となるためには更なる雇用の創出も考えていかなければならないことから、今年度については、基幹産業である農業について、国交付金を活用し、6次産業化などの高付加価値化を実現したいと考える。

## 【実施した主な施策】

### ・6次産業化促進事業 ■ 施策1

秘書広報課特命プロジェクト担当及び産業振興課の連携により、「みのりの郷東金」の活用なども視野に入れた6次産業化について検討してきた。

平成28年度は、国交付金を活用した加工所の建設について検討する予定である。

### ・バイオマス等の再生可能エネルギーの活用（中・長期で検討する事業） ■ 施策1

サンブスギ溝腐病の被害財及び下水汚泥による発電・再資源化についての調査・検討を実施してきた。

### ・看護師養成就学資金貸付（P27） ■ 施策4

東千葉メディカルセンターの看護師を円滑に確保するため、城西国際大学看護学部の学生を対象に 修学資金の貸付を行ってきた。（入学時の支度金50万円以内、修学金100万円／年）

平成27年実績として既に貸付を行っていた2年生～4年生各15人への貸付を継続するとともに、新規募集により1年生14人、2年生1名へ貸付を開始した。

なお、当該貸付を受けた第一期生14名が東千葉メディカルセンターに就職した。

基本目標 5 : きずなづくり for FRIENDSHIP

～地域間の連携を目指して～

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
地域間連携が進んでいると感じる市民割合	—		22.5	60.00%

■ 施策 1 とともに生活する地域がひとつになり、水準を落とさずに効率的に運営する。

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
地域中核病院の東千葉メディカルセンターを中心とした東金市の医療体制に満足している市民の割合	—		62.0	70.00%

■ 施策 2 便利で快適、安心・安全な暮らしを確保する地域のつながりと絆を深める。

数値目標	基準値		H27 実績	目標値 (H31)
	数値	基準年度		
友好都市との交流者数	80	(H26)	59	120 人
移住定住ホームページへのアクセス件数	—		2,111	70,000 件

## 【検証】

「きづなづくり」については、九十九里町との連携により移住定住情報に特化したホームページを立ち上げた。また、観光情報も加えた情報誌を作成するべく、地方創生加速化交付金を共同で申請し年度末に採択されたところである。

しかし、「地域間連携が進んでいると感じる市民割合」や「移住定住ホームページへのアクセス件数（次ページ記載）」が目標値を大きく下回っていることから、連携施策についてのPRが不足していたと考える。

今年度は、当該交付金を活用して作成した情報誌によるPR活動に加え、YoutubeやFacebook等を活用し移住定住ホームページへ誘導できる仕組みを検討し、実施したいと考える。

また、九十九里町と共同で設立した東千葉メディカルセンターについて、両市町の担当部署が協力し分娩対応可能な産婦人科を開設できたことが、「地域中核病院の東千葉メディカルセンターを中心とした東金市の医療体制に満足している市民の割合」が高水準となったこと大きな要因であると考えている。

## 【実施した主な施策】

### ・医療センター推進事業 ■ 施策 1

病院特別会計への一般会計繰入金は 652,367 千円で基金充当分 275,377 千円を加え、東千葉メディカルセンターに事業負担金 927,744 千円を支出した。このうち年度末の約 5 億円の資金不足見込みに対する緊急的支援措置として 141,083 千円を追加負担した。

### ・移住定住ホームページ運用事業 ■ 施策 2

九十九里町と連携し、移住・定住情報を見やすくまとめたホームページの立上げ・公開の準備を行った。

現在、公開しているが、アクセス数が伸び悩んでいることから、当該ホームページに誘導できる仕組みの構築について検討していく予定である。